

上田 幸二郎 副社長執行役員に聞く

新ケミカル商事

新ケミカル商事は4月から新中期計画「NCT／ムーニッシュョット計画」を始動させた。昭光通商アグリとみらいアグリを同月に合併してNCTアグリとし、新ケミカル商事のアグリ事業部、昭和培土、NCTファームネットの4社からなるアグリセグメントが発足した。同セグメントで2030年に売上高260億



アグリセグメントが始動

を目指す。上田幸二郎副社長執行役員に今後の展望を聞いた。

◇ ★：農業関連事業は4月から5つのセグメント（化学品・製鉄関連・樹脂・建材・アグリ）の一つに位置づけられましたね。

肥料の安定供給に寄与

30年度売上高260億円へ

とで重要な事業の一つに位置づけた。アグリセグメントの23年度の売上高は約123億円だったが、30年度に260億円を計画している。当社は日本の農業に貢献していくことをミッションと捉えて取り組んでいる。アグリセグメントの守備範囲は多岐にわたる。肥料

とで重要な事業の一つに位置づけた。アグリセグメントの23年度の売上高は約123億円だったが、30年度に260億円を計画している。当社は日本の農業に貢献していくことをミッションと捉えて取り組んでいる。アグリセグメントの守備範囲は多岐にわたる。肥料

とで重要な事業の一つに位置づけた。アグリセグメントの23年度の売上高は約123億円だったが、30年度に260億円を計画している。当社は日本の農業に貢献していくことをミッションと捉えて取り組んでいる。アグリセグメントの守備範囲は多岐にわたる。肥料

とで重要な事業の一つに位置づけた。アグリセグメントの23年度の売上高は約123億円だったが、30年度に260億円を計画している。当社は日本の農業に貢献していくことをミッションと捉えて取り組んでいる。アグリセグメントの守備範囲は多岐にわたる。肥料

とで重要な事業の一つに位置づけた。アグリセグメントの23年度の売上高は約123億円だったが、30年度に260億円を計画している。当社は日本の農業に貢献していくことをミッションと捉えて取り組んでいる。アグリセグメントの守備範囲は多岐にわたる。肥料

原料や肥料そのものの国内外からの調達、肥料や培土の委託製造、国内20拠点のネットワークを通じたデリバリー体制がある。ハウスの販売と建設、農業用資機材の供給、野菜の出荷事業も手がけている。川上から川下まで幅広く対応できることが当社の強みと思っ

う。残念ながら日本の食料自給率は38%と低く、化成肥料はほぼ輸入に頼っているのが実情だ。そのようななかで22年に経済安全保障推進法において肥料が特定重要物資に指定された。備蓄や海外からの調達の多様化も謳われているが、輸入に頼るのはリスクともなう

いるが、製鉄会社の生産の海外移転や設備の老朽化、カーボンニュートラルへの対応によって供給量が減少し、輸入が徐々に増え始めている。当社国内トップクラスの硫酸のサプライヤーであり供給責任がある。現存する設備を最大限活用し、生産、調達できるようにメーカーや関係先とともに検討し取り組んでいる。それでも足りない場合は調達責任を果たすために、海外も含めた調達先の確保を検討する。また今後は肥料の輸出も検討する。一方で食料残渣や溶融スラグの肥料化についてもしっかり取り組みたい」

★：硫酸以外にも魅力ある商品を提供していただけますね。

「NCTアグリは有機肥料を豊富に品揃えている。無機肥料を輸入し、液肥も数種類販売している。バイオスティミュラントも扱っている。昭和培土はあらゆる種類の培土の供給ができる。こうした豊富なメニューを国内の需要家に積極的に提案している。またNCT建材と連携してハウスの一括受注を開始し、実績が現れてきたので着実に伸ばしていく。近年、加工野菜の需要が増えており、加工野菜メーカーの品質基準を満たした野菜を集荷して供給するという事業を手がけて拡大している。新ケミカル商事100%子会社のNCTフロンティアとは海藻由来の肥料や液肥の開発販売で連携していく。製鉄所の製鋼の工程で利用される焼いた初殻については、農協で製造したものの製鉄所への供給を開始した」